

令和6年度の活動報告	
★登録団体:16 団体(昨年度:18団体)	
★登録者数:734 名(昨年度:811 名)	
◆河川の状況調査◆	
	
● 川の流れはゆっくりであり、鯉が泳いでいる。川底はよく見える。放流イベントがある。 ● 測定値は雨量の関係で多少の変化はあったが、環境基準の範囲内で良好である。 ● 夏場と冬とで水質が異なる。四季によって気温の差が有り水温も違い、ポイ捨てのゴミが多かった。	
◆家庭生活で実践したこと◆	
<台所> ○流しから調理くず等を流さない。(必須) ● 食材を使い切り、野菜皮なども調理した。 ● 水切りネットをつけて、流さないようにした。生ごみはコンポスト等を利用して処分した。 ○食用油は流さずに適正に処理する。(必須) ● 新会員や町民から天ぷら廃油回収したり、EM 廃油石けんを作る材料にした。 ○汚れのひどい食器等は洗う前からふき取る。(必須) ● キッチンスクレーパーや新聞紙でふき取って洗った。 ● 手洗い用泡ソープを古布につけてふき取った。 ○米のとぎ汁をそのまま流さない。(任意) ● 肥料として利用した。	

● 無洗米を使用した。 ● 米のとき汁を植木、木の根っこ、花等に与えた。 ○台所の洗剤は適量使用する。(任意) ● 薄めて使用した。 ● アクリルたわしの活用、アクリルたわし作成講習会を実施した。 <洗濯> ○洗濯洗剤を適量使用する。(任意) ● 洗剤は少なめにしたり、廃油石けんを作り使用した。 ● 環境への負担が少ない洗剤を使い、容器に表示されている適正量を守った。 <風呂場> ○石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにする。(任意) ● 手でよく泡立てた。 ● 環境の負荷がなるべくかからない商品を選んで使用した。 ● 使いすぎないように心がけ、適量を知り薄めて使用した。 ○その他 ● シャワーの使い方をできるだけ短くした。
◆普及啓発活動◆
● まちづくり協議会と合同で河川調査した。 ● 講習会の開催、学校に出向いて呼びかけた。 ● 環境フェスタで呼びかけた。
◆その他◆
● ゴミ拾いも行った。 ● 生ごみ処理機、夏には合併浄化槽の研修をし、会員を中心に啓発活動に尽力できた。 ● トイレの洗剤において強力なものを使わないようにした。

活動報告いただきありがとうございました。